

2013年10月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会

目次

自由*空間	「地名の由来」「二つある信長街道」	… P 2
ご存知ですか	「はんなん健康マイレージって?」	… P 2
私のおすすめ	『丕緒の鳥』 『ゆりちかへ』 ママからの伝言 『オリビア』	… P 3 … P 3
図書館からのお知らせ		… P 4

言葉から いにしえを想う

柿花 実也

戦中派世代の私たちは使っていないので、「はちる」といふ言葉は、その道の隠語かもしれない。その道の方面からやってきた若者言葉だと思っていた。実際、インターネットで調べてみても【分類】：若者言葉 【読み方】：パチル、ペチル、ギル「パチる、ペチる、ギる」はいずれも他人の所有物を窃盗する行為を指す言葉という記述にも出会った。

しかし、日本語とタミル語の特に古語や各地の方言を比較して、その共通性に着目した国語学者大野晋氏の著書『日本語以前』(岩波新書一九八七年発行のP二一七)の中に、「pati-ru」嘘、詐欺、不法、盗み、秘密の結合」とあるのを見て驚いた。「はちる」とは若者言葉ではなく、「は」か「ひ」か「生」か「な」がらってきた古語か、子どもたちの口を借りて、ある日忽然と復活してきたという

うのだろうか。

この著書の中で、氏は、何百もの例示によらず、タミル語と日本語がその祖先を同じくする回系語であることとを学問的に論じている。私が今述べようとしているのは、そのことではない。

ただ、私たちが使っている日常語の中に、ふと古語を見つけた時、何とも言えぬ懐かしさにとらわれてしまう自分に気付くのである。古来、目は「マ」かわれていたらしい。だからこそ、その蓋は「マ」であり、目の上の毛は「マ」であり、目の毛は「マ」であり、目の毛は「マ」であり、目の毛は「マ」である。特に目の毛を「マ」たりしている。数年前、一枚の名刺をもらったことがあった。

その名刺は、「菓 太郎」と書いてあった。尋ねてみ

ると、「菓」を「ミ」や「読」むのだという。そういえば、かつての貧しい時代、お菓子といえば、そのあたりになつてはいる果実であり、畑で栽培している果菜類ではなかったか。言葉は、時代時代の私たちの暮らしの中身を見事に写し取っている。逆に、そのように気付いた時、その時々私たちの祖先の暮らしや思いが見えてきて、その懐かしさに、胸を熱くしている自分に気付くのである。



## 二つある信長街道

私は阪南市に住んで三十五年、まち案内ボランティアをしています。信長街道は、泉南市の信達市場を起点に阪南市側は、男里川を渡り、下出、黒田を通り、鳥取ノ荘で浜街道に合流するまでの約五・五kmが、定説になっています。ところが阪南市では、波有手（ぼうで）から波太神社までの道を信長街道と言っています。信長が雑賀攻めの時に波太神社に本陣をはったこと、信長の遺志を継

いだ秀吉が根来攻めの時、抵抗した僧侶たちが多数首を斬られ、首斬り地蔵がこの道路沿いに祀られていることから、にくき信長の象徴として、地元で語り継がれてきたのでしょう。この時期は、阪南市が日本の中央政治の動きと関連があったことに歴史の重みを感じます。信長街道と首斬り地蔵など周辺の史跡が、阪南市の観光に生かせれば良いと思っています。

寺田 雄揮

# 自由空間



## 箱の浦の由来

箱の浦は、『土佐日記』（九三五年頃）にも登場する地名で、紀貫之が土佐国から帰京する際に記しています。

阪南市の郷土史の父とも言える根来治氏が次のような主旨の考察をしています。「箱の浦は、京都の賀茂神社から御幣の入った箱が辿り着き箱着里の名が生じ。その浦ということで箱の浦と伝わるが、すべて信じることはできない」と。

そこで、日本全国の箱の付く地名等を調べてみると、①地形が箱状。②説話に

「箱」が登場する。③箱状のモノに由来。などが、由来理由となっていました。

古来、箱作は石材産業が古墳づくりを中心に盛んで、石材をほかの地域にも供給するため、箱作の浦には多くの箱状の船が出入りしていたことが推察でき、③が妥当な由来の理由だと考えられます。

なお、『謎の画像鏡と紀氏』の著者・日根輝巴氏も、「箱の浦」の「箱」について、「船」であることを予察されています。

中川 義朗

## 《ご存知ですか》

## はんなん健康マイレージって？

阪南市立保健センターでは、市民の一人ひとりが、普段の生活の中で心身の健康について考え、自主的・積極的に楽しみながら自分から進んで健康づくりができるように、この取り組みを推進しています。健診や健康づくりのイベント・講座に参加すると、ポイントが与えられ一定のポイントがたまり、応募すると記念品がもらえるというものです。

生活習慣病を予防・改善するための阪南市特定健康診査や市が実施する肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がんなどの各種検診受診

で、それぞれ10ポイントがたまります。また「子育てと自分育てを楽しむ講座」や「市民病院公開講座」「きいて納得講座（糖尿病等）」「阪南スポーツフェスタ」「男性のための料理教室」などさまざまな20イベントが半年間に開催されます。1イベント3ポイントが与えられます。

皆さんも、はんなん健康マイレージに参加して健康を促進してはいかがでしょうか。

問い合わせ先 阪南市立保健センター

(☎ 472-2800)

新潮社

YA オノ

書肆侃侃房(しょしかんかんぼう) D テレ

本書は十二国記シリーズの十二年ぶりに出された新刊です。十二国記シリーズといえば、主人公の女子高校生中島陽子が異世界に飛ばされ、そこで自分が慶国の新王である事を知り、苦難を乗り越えながら、王としても、人間としても成長していく姿を描いた作品です。

本書はその番外編の作品を集めた短編集のはずなのですが、全四本の作品中にこれまでのなじめのキャラクターはほとんど登場しません。本書は十二国記の世界の中で生きる一般人のうち、特に国官としてそれぞれの職務にまい進する人々に焦点を当てた作品で構成されており、これまでの作品とはかなり趣が異なります。なので、これまでのキャラクターに愛着を感じているファンには少し物足りなく感じるかもしれません。私も読み終わった直後はそう思いました。

しかし、改めて本書について考えてみると、これまでと違う視点だからこそ、登場人物のおかれている状況や彼らの心情がよりリアルに感じられます。私は、十二国記という小野不由美さんの作ったファンタジーな世界の中で生きる人々に、これまで以上のリアリティをもたせたのが本書なのではないかと感じています。

辻 美穂

## 私のおすすめ

メディアにもよく取り上げられて紹介されたり、テレビドラマにもなったりと、皆さんも一度はこの本のタイトルを耳にしたこともあると思います。

無事出産しこれからという人生で自分の命が限りなく少ないことを宣告されます。彼女は愛する娘のため、娘が成長過程でこれから悩むであろう問題の解決方法を手紙(本)として残します。友達のこと、ケンカしたときのこと、お金の使い方、オシャレのこと、恋のこと。一つ一つが娘への愛情に満ち溢れながらも母親として、その困難に直面した時に傍に居てあげられない事の歯痒さ、成長を見届けられない残酷さに胸

が締め付けられそうになりました。死にたくない、死にたくない、死にたくない。やりたい事、遣り残している事が多過ぎると彼女は頑張りました。

山岡 真澄



## 『オリビア』

《児童書》

イアン・ファルコナー / 著 谷川俊太郎 / 訳 あすなる書房 E

主人公のオリビアは、おませなコブタの女の子です。彼女は、美術館でドガの絵を見ると、バレリーナになった気分になり、マリア・カラスの本を読んでもらった夜には、ソプラノ歌手になった夢をみます。そんなオリビアに、ママは毎日振り回されてクタクタです。作者のファルコナーは、ニューヨーク在住のイラストレーターで、バレエ

の舞台美術も手がけているアーティストです。絵本は全ページにわたって、シンプルなモノトーンでまとめられていますが、オリビアの服や小物だけが鮮やかな赤で描かれています。ファルコナーは、自分の姪をモデルにオリビアを描いたそうです。何事にも好奇心いっぱいのオリビアに対する愛情があふれている、本当にチャーミングな絵本です。

森本 典子



# 平成 25 年度第 3 回 本と雑誌のリサイクル

図書館でのつとめを終えた本や雑誌をお譲りします。みなさまの本棚で第二の人生を。

**平成 26 年 1 月 18 日 (土) 午前 9 時 30 分～午後 3 時**

ところ サラダホール 2 階 視聴覚室  
持ち物 図書貸出券・ボールペン・袋  
入場方法 図書貸出券をご提示ください。  
冊数 本は 10 冊まで、雑誌は一部を除き無制限

いつもは 2 月開催ですが、  
今回は 1 月です。  
お間違いなく!

## 午後 1 時以降の入場について

今回も、再入場可、本の冊数制限なしというリサイクルの試行をします。午後 1 時以降は、朝すでに 10 冊譲り受けた方でも、再入場し、好きなだけ本を持ち帰ることができます。

## 「雑誌スポンサー」募集

### 図書館の雑誌のスポンサーにありませんか?

個人の方、大歓迎!

会社や商店、団体の方は広告を入れられます

時々、「いつも図書館にお世話になってるから、図書館に何かお礼をしたいと思っています。」というありがたいお声をいただきます。体を使ったボランティアはできないけれど、雑誌のスポンサーならなってもいいな、と思われる方、ぜひお願いいたします。

新しい雑誌が増えることは、図書館、ひいては阪南市民全体のためになります。

現在 11 誌にスポンサーがついています。(お名前を雑誌に入れるかどうかは自由です。匿名 OK)

### スポンサー雑誌一覧

たまごクラブ・あまから手帖  
きょうの健康・月刊 MOE  
趣味の園芸やさいの時間  
すてきな奥さん(2 冊)・歴史街道  
詩とファンタジー・考える人  
日本児童文学・母の友

**目的** 阪南市立図書館の雑誌コーナーを活用し、新たな図書資料等を確保し、図書館サービスの充実を図ること。

**内容** 雑誌そのものの寄贈ではなく、雑誌の購入代金を負担していただくものです。

購入した雑誌は、通常の雑誌と同じように阪南市立図書館の雑誌コーナーに並びます。

**雑誌のタイトル** 当館指定の「雑誌リスト」より選定していただきます。

**支払い方法** 年間購読料を一括でお支払いください。

\*詳しくは図書館【雑誌スポンサー担当】までお問い合わせください。

お問い合わせ：阪南市立図書館 TEL072-471-9000